２０２１年度　実験生物慰霊式／実験生物慰霊祭の開催について

２０２１年度に早稲田大学では二つのキャンパスで実験生物慰霊式、実験生物慰霊祭が執り行われました。

① 2021年度　実験生物慰霊祭（所沢キャンパス）

１０月１６日（土）、所沢キャンパス「実験生物慰霊碑」前において、令和三年度実験生物慰霊祭が開催され、人間科学学術院、スポーツ科学学術院の生物実験に従事する教職員、学生ら27名が参列しました。

式典では、中氷川神社の宮司により、修祓の儀、降神の儀、慰霊碑への遷霊、祭文奉上、玉串奉てん、昇神の儀が執り行われました。

続いて、正木宏明先生（スポーツ科学学術院教務担当(研究戦略担当)）より挨拶があり、両学術院にて行われている研究は、尊い犠牲のもとに成り立っていることを自覚し、社会の発展により一層貢献していかなければならない旨が述べられました。

また、榊原伸一先生（人間科学学術院教授）より本年度の実験生物の使用状況が読み上げられ、最後に３５回目の本祭典についての経緯を含めた宮司からの挨拶があり、厳粛のうちに慰霊祭を終えました。

② 2021年度　実験生物慰霊式（先端生命医科学センター）

11月9日（火）先端生命医科学センター（TWIns）2F共用会議室Bにおいて、令和三年度実験生物慰霊式が執り行われました。本年度は昨年度と同様に新型コロナウイルス対策のため、ZOOMでの同時配信を行い、学生および教職員、生物取扱関係者83名が参加・視聴参列いたしました。

はじめに武岡真司先生（先端生命医科学センター長）より挨拶があり、実験生物への感謝と哀悼の念について述べられました。また、昨今では分子生物学的手法の発展により、細胞のみの実験により目的を達成できる環境が整いつつあることから、犠牲となる生物の

数を最小限にとどめ、より一層、実験の成果を学問や社会の発展に還元しなければならないと述べられました。

挨拶の後、生命科学分野の教育・研究のため貢献した実験生物への感謝と犠牲となった生命への哀悼の念を表し、出席者一同が黙祷を捧げました。

続いて、先進理工学研究科生命理工学専攻所属の学生より慰霊の辞が述べられ、厳粛のうちに終了いたしました。なお、献花については式典終了後、同会議室にて随時行われました。

以　上